

魚とコインを肴に珈琲憩（六） なにか、話題ありませんか？

「コインの水族館」著者 木谷 浩

夏本番、朝一番で氷菓子の〇〇シグレを買いに近くのスーパーに。レジを終えて、買い物袋にアイスを入れて出口に向かう時、幼児連れの主婦が置いてあるアルコールを指して、「オカネを触ったから手を消毒して」と言うのに、エヘッ！今も？ そうなんだ…と愕然！主婦の言うオカネは買い物で手にする「小銭」と頭では理解しましたが、それにしても（人の手を経由したので）小銭は汚れているという風潮には、イマダ？ 幾分の抵抗があります。加えて、会話時は「まずマスク」、外から入るか帰ったら「まずアルコール消毒」では、「魚とコインを肴に珈琲憩」と思っても、コーヒーどころか、店内にも入れない。まさに、没法子（中国語）、E. mago（メキシコ語）、「致し方なし」ですが、コインは人の手を経たもの程、信用？ を得て喜ばれる様にも思います。

画像1は、イベリア半島、カルタゴ／フェニキア交易地の Sexi（セクシ） 鑄造（参考地図）、アス銅貨（一〇〇〜二〇〇 B.C.）、二千年程前のコインなので、埃や手垢？ も相当蓄積し、錆も進んで、貴金属の輝きもなく、いかにもバッチイ

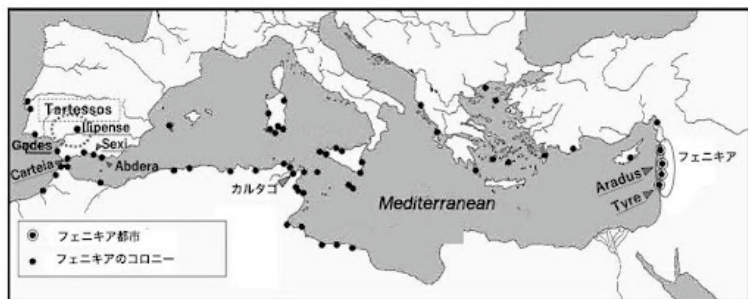
感じ、文字らしきモノ、微かに魚らしき図、片面には何かワカランものが描かれます。画像2は、このコインのデザインを示したカタログからの抜粋です。Sexi はカルタゴ／フェニキアのコロニーですが、当時の地中海は東岸のフェニキア地域より、中部にあるカルタゴの経済的、社会的影響力が大でした。即ち、イベリア半島からの交易品はカルタゴに集まり、さらに地中海全域に運ばれたと考えます。また、フェニキアという国はなく、地中海東岸域の人々がフェ



画像1



画像2



参考地図

ニキア、フェニキア人で、カルタゴはフェニキア人のコロニーの一つでしたが、地中海の交易拠点として発展し、商業活動の本拠地になりました（参考地図）。コロニーは占領地ではなく、フェニキア人の交易地・寄港地、フェニキアは諸税を地元にあつた、と考えます。カルタゴとローマは三度にわたるポエニ（フェニキア、Phoenicia = poeni）戦争（BC二六四〜一四六）に

※掲載画像は原寸ではありません。